

「消化器内視鏡診療時の鎮静」に対する効能又は効果の追加承認、及び、アネレム®静注用20mg剤形追加承認取得のご案内



謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社ならびに弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「アネレム®静注用製剤」について、「消化器内視鏡診療時の鎮静」の効能又は効果で追加承認を取得いたしました。

併せて、「アネレム®静注用20mg」の剤形追加承認を取得しましたのでご案内申し上げます。

「アネレム®静注用50mg」は、2020年1月に「全身麻酔の導入及び維持」を効能又は効果として承認されましたが、この度の効能又は効果の追加承認により、「アネレム®静注用20mg・50mg」とともに「全身麻酔の導入及び維持」に加えて、ベンゾジアゼピン系薬剤では国内初となる「消化器内視鏡診療時の鎮静」の適応を有する全身麻酔・鎮静用剤となりましたことを謹んでご案内申し上げます。なお、2025年6月現在「アネレム®静注用20mg」は薬価未収載です。発売時期等につきましては、改めてご案内させていただきます。

消化器内視鏡診療時の鎮静の選択肢として先生方の日常診療にお役立ていただき、患者様にも貢献できることを願っております。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2025年6月吉日

ムンディファーマ株式会社

追加となった【効能又は効果】、【用法及び用量】抜粋

効能又は効果	用法及び用量
消化器内視鏡診療時の鎮静	通常、成人には、レミゾラムとして3mgを、15秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも2分以上の間隔を空けて、1mgずつ15秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。

アネレム®静注用20mg、アネレム®静注用50mgの詳細については、電子添文をご参照ください。

製造販売元[文献請求先及び問い合わせ先]

ムンディファーマ株式会社

東京都港区港南 2-15-1

お客様相談室 0120-525-272